


山や崖、川や水路には

大雨が降ったら  
場所に身を寄せる

地震が起ったら




防災

① すぐに

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら...

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には


② 大きな声で



防犯

飛び出さないためには

道路の手前で  
左右の道を  
車や自転車が来ないかを



交通安全

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!


地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

例えば...

- 古びていたり、高さのあるグロッツの側の
- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い

大雨

地震



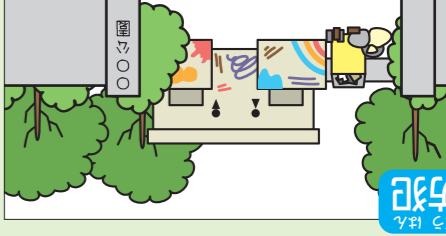
防災

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所

例えば...

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所




防犯

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えば...

- グロッツや自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

「飛び出し」が発生しやすい場所



交通安全

どんな危険があるのかな?

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

考えてみよう! ~高学年のみなさんへ~


1, 2, 3年生は家の人と一緒に考えてみよう。

次の文章の下線部の内容が正しいものには○、正しくない場合は×を入れて正しく直しましょう。

1	雷は夏に発生し、 <u>春や秋には発生しない。</u>	【 】
2	雷をとまなう大雨の時には、 <u>雷雨を妨げる大きな木の側に避難するとよい。</u>	【 】
3	登下校途中で雷が発生したら、 <u>急いで学校に避難した方がよい。</u>	【 】
4	遠くの方で雷が発生した場合は <u>すぐに安全な場所に避難した方がよい。</u>	【 】
5	雷が鳴っている時に、近くに避難できる場所がない場合は <u>姿勢を低くして耳をふさぐのがよい。</u>	【 】


セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。



「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にあることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながる。



校区安全マップ

高槻市立松原小学校

年 組




高槻市 はにたん

# まつばらしょうがっこう 松原小学校

自分の通る道を  
なぜってみよう!



高槻市 はにたん



阪急京都線

国道 171 号

松原町

千代田町

南松原公園

南松原町

たんぼぼ公園

高槻中・高

大阪医科薬科大学

沢良木町

さるびあ  
児童遊園  
あさがお  
児童遊園

明野町

沢良木公園

松原小学校

松原  
幼稚園

永楽町

第六中学校

東海道新幹線

大冠北第1  
コミュニティセンター

## 7 交通安全



東から北に向かう自転車や車がかなり内側を通るので、歩行者等は注意が必要。

## 8 交通安全



交通量が多く、東側から一方通行を逆走してくる車もある。信号を無視する自転車も多い。

## 9 交通安全



道幅がせまいにもかかわらず、スピードを出して通行する車がある。

## 10 交通安全



東から北に向かう自転車や車が、かなり内側を通る。一旦停止をしていないバイクや車もある。

## 5 交通安全



交通量がとても多く、スピードを出している車も多い。歩行できる道幅がせまいので、通行には注意が必要。

## 2

## 自分だけの安全マップを作ろう!

- 通学路 □ 遊ぶ場所
- △ 危険箇所 (交通安全・防犯・防災の観点)
- ★ セーフティボランティアさんのいるところ

## 4 交通安全



東西南北で交通量が多く、曲がり角で衝突しそうになる。スピードも出やすい。

## 3 交通安全



交通量が多く、駐車をしている車も多い。見通しも悪いので、通行には注意が必要。

## 2 交通安全



自転車や車の交通量が多い。横断歩道はあるが、渡るタイミングを計るのが難しい。

## 1 交通安全



見通しが悪く、自転車や車の交通量が多い。スピードも出ているので、通行には注意が必要。

水路や池には  
立ち入らない!  
川に行くときは大人と  
一緒に行こうね



..... 幹線通学路

地震発生時の避難場所 ( )